

平成29年4月28日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成29年5月31日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第21591号	協友オードラム粒剤	モリネート粒剤	協友アグリ株式会社
第21815号	協友マメットSM粒剤	シメトリン・モリネート・MCPB粒剤	協友アグリ株式会社

1. 協友オードラム粒剤

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

- ・ 作物名「移植水稻」の使用量を「3～4 kg/10a」から「3 kg/10a」に変更する。
- ・ 本剤の使用回数を「2回以内」から「1回」に変更する。
- ・

【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	モリネートを含む農薬の総使用回数
移植水稻	ノビエ マツハイ ホタルイ	植代後～ 移植7日前 又は移植後 ノビエ 2葉期まで	3～4kg /10a	2回以内	湛水散布	2回以内
直播水稻	ノビエ マツハイ	イネ出芽揃～ ノビエの 1.5葉期まで (但し、収穫 90日前まで)	3kg /10a			

〔変更後〕

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	モリネートを含む農薬の総使用回数
移植水稻	ノビエ マツハイ ホタルイ	植代後～ 移植7日前 又は移植後 ノビエ 2葉期まで 但し、移植後 30日まで	3kg /10a	1回	湛水散布	2回以内
直播水稻	ノビエ マツハイ	イネ出芽揃～ ノビエの 1.5葉期まで 但し、収穫 90日前まで	3kg /10a			

2. 協友マメットSM粒剤

【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

- ・作物名「移植水稻」及び「直播水稻」の使用量を「3～4 kg/10a」から「3 kg/10a」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	モネトを含む農薬の総使用回数
直播水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ	乾田直播の入水後 7 日 (稲 5 葉期以降) ～ノビエ 3.5 葉期 但し、収穫 90 日前まで	3～4kg/10a	1 回	湛水 散布	2 回以内
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ウリカ ホタルイ ミスガヤツリ ヘラオモダカ クログワイ オモダカ ヒメホタルイ アオミドロ・藻類 による表層はく離	移植後 10 日 (稲 5 葉期以降) ～ノビエ 3.5 葉期 但し、移植後 30 日まで				

〔変更後〕

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	モネトを含む農薬の総使用回数
直播水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ	乾田直播の入水後 7 日 (稲 5 葉期以降) ～ノビエ 3.5 葉期 但し、収穫 90 日前まで	3kg/10a	1 回	湛水 散布	2 回以内
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ウリカ ホタルイ ミスガヤツリ ヘラオモダカ クログワイ オモダカ ヒメホタルイ アオミドロ・藻類 による表層はく離	移植後 10 日 (稲 5 葉期以降) ～ノビエ 3.5 葉期 但し、移植後 30 日まで				

【変更理由】

登録維持に必要な資料整備に経費と時間を要するため。

平成 2 9 年 4 月 2 8 日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成 2 9 年 5 月 3 1 日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第 2 2 5 9 9 号	ランネート微粒剤 F	メソミル粉粒剤	三井化学アグロ株式会社

■変更内容及び変更理由

【 変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ） 】

- ・作物名「キャベツ」の使用時期を「収穫 14 日前まで」に変更する。
- ・作物名「だいず」の使用量を「4～5kg/10a」に変更する。
- ・作物名「だいこん」の使用時期を「収穫 21 日前まで」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ミミルを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオシ、ヨトウムシ ハスモンヨトウ	3～5kg/10a	収穫 7 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
	コナガ、タナギンウワバ アブラムシ類	4～6kg/10a				
だいず	ハスモンヨトウ シロイチモシ、マダラメイガ、 カメムシ類	4～6kg/10a	収穫 14 日前 まで	4 回以内		4 回以内
だいこん	アオシ、ヨトウムシ ハスモンヨトウ	3～5kg/10a		2 回以内		2 回以内 (は種時の土壌混和は 1 回以内)
	コナガ、タナギンウワバ アブラムシ類	4～6kg/10a				

〔変更後〕

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ミミルを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオシ、ヨウムシ ハスモンヨトウ	3～5kg/10a	収穫 14 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
	コナガ、タナギンウバ アブラムシ類	4～6kg/10a				
だいず	ハスモンヨトウ シロイモシ、マダラメイガ カメシ類	4～5kg/10a		4 回以内		4 回以内
だいこん	アオシ、ヨウムシ ハスモンヨトウ	3～5kg/10a	収穫 21 日前 まで	2 回以内		2 回以内 (は種時の土壌混和は 1 回以内)
	コナガ、タナギンウバ アブラムシ類	4～6kg/10a				

【変更理由】

登録内容の維持に必要な試験成績整備に経費と時間を要するため。

平成29年4月28日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成29年5月31日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第20863号	ランネート45DF	メソミル水和剤	宇都宮化成工業株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

- ・作物名「すいか（露地栽培）」を削除する。
- ・作物名「キャベツ」の使用時期を「収穫14日前まで」に変更する。
- ・作物名「はくさい」の使用時期を「収穫14日前まで」に変更する。
- ・作物名「レタス」の使用時期を「収穫21日前まで」に変更する。
- ・作物名「サラダ菜」の使用時期を「収穫21日前まで」に変更する。
- ・作物名「カリフラワー」の使用時期を「収穫7日前まで」に変更する。
- ・作物名「チンゲンサイ」の使用時期を「収穫14日前まで」に変更する。
- ・作物名「だいこん」の使用時期を「収穫21日前まで」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	メソミル を含む農薬の 総使用回数	
すいか (露地栽培)	ワタアブラムシ	1000～ 2000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	4 回以内	散布	4 回以内	
キャベツ	アオムシ コガ ヨトウムシ ハスモンヨトウ アブラムシ類 タマギンウバ	1000～ 2000 倍		収穫 3 日前 まで	3 回以内		3 回以内	
はくさい	アオムシ コガ ヨトウムシ アブラムシ類	1000～ 2000 倍		収穫前日 まで	2 回以内		2 回以内 (は種時の 土壌混和は 1 回以内)	
レタス	ヨトウムシ アブラムシ類	1000～ 2000 倍		収穫 7 日前 まで	2 回以内		2 回以内 (植付時の 土壌混和は 1 回以内)	
	オオタバコガ ナメクジ類	1000倍						
サラダ菜	ヨトウムシ アブラムシ類	1000～ 2000倍		収穫14日前 まで	2 回以内		2 回以内	
	オオタバコガ	1000倍						
カリフラワー	ヨトウムシ アブラムシ類	1000 倍		収穫 3 日前 まで	2 回以内		2 回以内	
チンゲンサイ	アブラムシ類	1000 倍		収穫 7 日前 まで	2 回以内		2 回以内	
だいこん	アオムシ コガ アブラムシ類 ハイマダラノメイガ	1000～ 2000倍	収穫14日前 まで	2 回以内	2 回以内 (は種時の 土壌混和は 1 回以内)			

【 変 更 後 】

【使用法】							
作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	メソミル を含む農薬の 総使用回数
キャベツ	アオムシ コナガ ヨトウムシ ハスモンヨトリ アブラムシ類 タマナギノウワバ	1000～ 2000 倍	100～300 L/10a	収穫 14 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
はくさい	アオムシ コナガ ヨトウムシ アブラムシ類	1000～ 2000 倍		収穫14日前 まで	2 回以内		2 回以内 (は種時の 土壌混和は 1 回以内)
レタス	ヨトウムシ アブラムシ類	1000～ 2000 倍		収穫21日前 まで	2 回以内		2 回以内 (植付時の 土壌混和は 1 回以内)
	オオタバコガ ナメクジ類	1000倍					
サラダ菜	ヨトウムシ アブラムシ類	1000～ 2000倍		収穫21日前 まで	2 回以内		2 回以内
	オオタバコガ	1000倍					
カリフラワー	ヨトウムシ アブラムシ類	1000 倍		収穫 7 日前 まで	2 回以内		2 回以内
チンゲンサイ	アブラムシ類	1000 倍		収穫14日前 まで	2 回以内		2 回以内
だいこん	アオムシ コナガ アブラムシ類 ハイマダラノメカイ	1000～ 2000倍		収穫21日前 まで	2 回以内		2 回以内 (は種時の 土壌混和は 1 回以内)

【 変更理由 】

登録内容の維持に必要な試験成績整備に経費と時間を要するため。

平成 29 年 6 月 23 日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成 29 年 7 月 26 日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第22653号	チューレックス顆粒水和剤	BT水和剤	三井物産株式会社
第22654号	ジャックポット顆粒水和剤	BT水和剤	アリスタ ライフサイエンス株式会社

■変更内容及び変更理由

【 変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ） 】

- ・作物名「野菜類」を作物名「野菜類（はくさいを除く）」へ変更する。
- ・作物名「はくさい」を使用時期「発生初期但し、結球開始前まで」として追加する。

【 適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ） 】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	BT を 含む農薬の 総使用回数
野菜類	コナガ アオムシ オオタバコガ	1000 倍	100～ 300L/10a	発生初期 但し、収穫前日 まで	—	散布	—

[変更後]

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	BT を 含む農薬の 総使用回数
野菜類 (はくさいを 除く)	コナガ アオムシ オオタバコガ	1000 倍	100～ 300L/10a	発生初期 但し、収穫前日 まで	—	散布	—
はくさい	コナガ アオムシ オオタバコガ			発生初期 但し、結球開始 前まで			

【 変更理由 】

はくさいに対しては、結球期以降の散布により薬害が生じるおそれがあるため。

平成 2 9 年 7 月 2 8 日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成 2 9 年 8 月 3 0 日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第 18821 号	ベルコート水和剤	イミノクタジンアルベシル酸塩水和剤	日本曹達株式会社
第 18825 号	クミアイベルコート水和剤	イミノクタジンアルベシル酸塩水和剤	クミアイ化学工業株式会社
第 22955 号	MIC ベルコート水和剤	イミノクタジンアルベシル酸塩水和剤	三井化学アグロ株式会社
第 23668 号	協友ベルコート水和剤	イミノクタジンアルベシル酸塩水和剤	協友アグリ株式会社

■変更内容及び変更理由

【 変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ） 】

- ・作物名「きゅうり」の使用方法「常温煙霧」を削除する。

【 適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ） 】

〔 変 更 前 〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミノクタジンを含む農薬の総使用回数
きゅうり	褐斑病	2000 倍	150～ 300L/10a	収穫前日 まで	5 回以内	散布	5 回以内
	うどんこ病 灰色かび病 炭疽病	2000～4000 倍					
	灰色かび病	50 倍	5L/10a			常温煙霧	

〔 変 更 後 〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミノクタジンを含む農薬の総使用回数
きゅうり	褐斑病	2000 倍	150～ 300L/10a	収穫前日 まで	7 回以内	散布	7 回以内
	うどんこ病 灰色かび病 炭疽病	2000～4000 倍					

【 変更理由 】

登録維持に必要な資料整備に経費と時間を要するため。

平成29年8月25日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成29年9月27日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第23023号	J A スプラサイド水和剤	DMTP 水和剤	全国農業協同組合連合会
第23020号	クミアイスプラサイド水和剤	DMTP 水和剤	クミアイ化学工業株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- ・作物名「すいか」の使用時期を「収穫7日前まで」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	DMTPを含む農薬の総使用回数
すいか	ミミイロアザミウマ	1000 倍	100～300L/10a	収穫3日前まで	5回以内	散布	5回以内

〔変更後〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	DMTPを含む農薬の総使用回数
すいか	ミミイロアザミウマ	1000 倍	100～300L/10a	収穫7日前まで	5回以内	散布	5回以内

【変更理由】

登録維持に必要な資料整備に経費と時間を要するため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成29年10月11日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第18504号	オリオン水和剤40	アラニカルブ水和剤	OATアグリオ（株）

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

- ・作物名「すいか」を削除する。
- ・作物名「もも」の使用時期を「収穫7日前まで」から「収穫14日前まで」に変更し、使用回数及び総使用回数を「5回以内」から「2回以内」に変更する。
- ・作物名「ぶどう」の使用回数及び総使用回数を「2回以内」から「1回」に変更する。
- ・作物名「かき」の使用回数及び総使用回数を「3回以内」から「1回」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	アラニカルブ を含む農薬の 総使用回数
もも	アブラムシ類 シンクイムシ類 モモハモグリガ カイガラムシ類	1000倍	200～700 L/10a	収穫7日前まで	5回以内	散布	5回以内
ぶどう	チャノコカクモンハマキ カイガラムシ類 ケムシ類			収穫45日前まで	2回以内		2回以内
かき	アザミウマ類 イラガ類 カイガラムシ類 カキノヘタムシガ ハスモンヨトウ カキノヒメヨコバイ ケムシ類 ハマキムシ類			収穫21日前まで	3回以内		3回以内
すいか	アブラムシ類 オオタバコガ		100～300 L/10a	収穫前日まで	5回以内		5回以内

【 変 更 後 】

作物名	適 用 病虫害名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	アラニカルブ を含む農薬の 総使用回数
もも	アブラムシ類 シンクイムシ類 モモハモグリガ カイガラムシ類	1000倍	200～700 L/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内
ぶどう	チャノコカクモンハマキ カイガラムシ類 ケムシ類			収穫45日前まで	1回		1回
かき	アザミウマ類 イラガ類 カイガラムシ類 カキノヘタムシガ ハスモンヨトウ カキノヒメヨコバイ ケムシ類 ハマキムシ類			収穫21日前まで	1回		1回

【 変更理由 】

登録維持に必要な資料整備に経費と時間を要するため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成 29 年 10 月 25 日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	種類名	製造者名
第22565号	アクセルキングフロアブル	トルフェンピラド・メタフルミゾン 水和剤	日本農薬㈱

■ 変更内容及び変更理由

【 変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ） 】

- ・ 作物名「だいこん」、「非結球レタス」を削除する。
- ・ 作物名「レタス」の使用時期を「収穫 3 日前まで」から「収穫 14 日前まで」に変更する。

【 適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

〔 変 更 前 〕

作物名	適用病虫害名	希釈倍数	使用 液量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用 方法	トルフェンピラト [®] を含む 農薬の総 使用回数	メタフルミゾン [®] を含む 農薬の総 使用回数	
だいこん	コナガ [®] 、アオムシ、ハマダラノメイガ [®] ヨトウムシ、アブラムシ類 キスシ [®] /ノミハムシ、ナメグ [®] リハエ	1500倍	100～ 300L /10a	収穫 14 日 前まで	2 回 以内	散布	2 回以内	2 回以内	
レタス	オオタバコガ [®] 、アブラムシ類 ナメグ [®] リハエ、ハスモンヨトウ	1000～1500倍		収穫 3 日 前まで				3 回以内	
	ヨトウムシ、ウリバ [®] 類	1500倍							
非結球レタス	オオタバコガ [®] 、アブラムシ類 ナメグ [®] リハエ	1000～1500倍		収穫 14 日 前まで					2 回以内
	ハスモンヨトウ、ヨトウムシ、ウリバ [®] 類	1500倍							

〔 変 更 後 〕

作物名	適用病虫害名	希釈倍数	使用 液量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用 方法	トルフェンピラド を含む 農薬の総 使用回数	メタフルミゾン を含む 農薬の総 使用回数
レタス	オオタバコガ、アブラムシ類 ナメクジハエ、ハスモンヨトウ	1000～1500倍	100～ 300L /10a	収穫 14 日 前まで	2 回 以内	散布	2 回以内	3 回以内
	ヨトウムシ、ウリバ類	1500倍						

【 申請者による変更理由 】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、登録の維持には試験成績の整備が必要であることが判明し、それには経費と時間を要することから、登録変更をすることとしたため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成 29 年 10 月 25 日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第20844号	テルスターフロアブル	ビフェントリン水和剤	エフエムシー・ケミカルズ(株)
第23430号	ISK テルスターフロアブル	ビフェントリン水和剤	石原産業(株)

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- ・作物名「ぶどう」の本剤の使用回数を「2回以内」から「1回」へ変更する。
- ・作物名「りんご」の本剤の使用回数を「2回以内」から「1回」へ変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ビフェントリンを含む農薬の総使用回数
ぶどう	チャノキイロアザミウマ	4000 倍	200～700 L/10a	収穫 14 日 前まで	2 回以内	散布	2 回以内 (くん煙剤は 1 回以内)
りんご	シクイムシ類 ハマキムシ類 キンモンホリガ アブラムシ類 キンモンハモクリガ ハダニ類 カメムシ類 ヨモギエダシヤク	3000 倍		収穫前日 まで			2 回以内

〔変更後〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ビフェントリンを含む農薬の総使用回数
ぶどう	チャノキイロアザミウマ	4000 倍	200～700 L/10a	収穫 14 日 前まで	1 回	散布	2 回以内 (散布は 1 回以内、 くん煙は 1 回以内)
りんご	シクイムシ類 ハマキムシ類 キンモンホリガ アブラムシ類 キンモンハモクリガ ハダニ類 カメムシ類 ヨモギエダシヤク	3000 倍		収穫前日 まで			1 回

【申請者による変更理由】

登録維持に必要な資料整備に経費と時間を要するため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成 29 年 10 月 25 日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第18082号	日産テルスター水和剤	ビフェントリン水和剤	日産化学工業(株)
第20791号	テルスター水和剤	ビフェントリン水和剤	エフエムシー・ケミカルズ(株)
第23431号	ISK テルスター水和剤	ビフェントリン水和剤	石原産業(株)

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

- ・作物名「りんご」の本剤の使用回数を「2回以内」から「1回」へ変更する。
- ・作物名「ぶどう」の本剤の使用回数を「2回以内」から「1回」へ変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ビフェントリンを含む農薬の総使用回数
りんご	モモシクイガ キンモンホリガ キンモンホモクシガ ハマキムシ類 アブラムシ類 リンゴハダニ ナミハダニ	1000 倍	200～700 L/10a	収穫前日まで	2 回以内	散布	2 回以内
ぶどう	チャノキイロアザミウマ			収穫 14 日前まで			2 回以内 (くん煙剤は 1 回以内)

〔変更後〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ビフェントリンを含む農薬の総使用回数
りんご	モモシクイガ キンモンホリガ キンモンホモクシガ ハマキムシ類 アブラムシ類 リンゴハダニ ナミハダニ	1000 倍	200～700 L/10a	収穫前日まで	1 回	散布	1 回
ぶどう	チャノキイロアザミウマ			収穫 14 日前まで			2 回以内 (散布は 1 回 以内、くん煙は 1 回以内)

【申請者による変更理由】

登録維持に必要な資料整備に経費と時間を要するため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成 29 年 10 月 25 日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	種類名	製造者名
第21055号	日農ハチハチフロアブル	トルフェンピラド水和剤	日本農薬(株)
第21056号	ハチハチフロアブル	トルフェンピラド水和剤	OATアグリオ(株)

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

- ・ 作物名「トマト」、「ミニトマト」、「なす」を削除する。
- ・ 作物名「なし」の使用時期を「収穫14日前まで」から「収穫30日前まで」に変更し、適用病害虫名「シクイムシ類」を削除し、適用病害虫名「クコカバラムシ」の希釈倍数を「1000～2000倍」から「2000倍」に変更し、使用回数を「2回以内」から「1回」に変更する。
- ・ 作物名「すもも」の使用時期を「収穫7日前まで」から「収穫14日前まで」に変更する。
- ・ 作物名「レタス」の使用時期を「収穫3日前まで」から「収穫14日前まで」に変更する。
- ・ 作物名「非結球レタス」の希釈倍数「1000倍」を削除し、希釈倍数「1000～2000倍」を「2000倍」に変更し、使用回数を「2回以内」から「1回」に変更する。
- ・ 作物名「セルリー」の使用時期を「収穫14日前まで」から「収穫30日前まで」に変更する。
- ・ 作物名「いちご」の使用時期を「収穫前日まで」から「1番花の開花まで」に変更し、使用回数を「2回以内」から「1回」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用 液量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用 方法	トルフェンピラト を含む 農薬の総 使用回数		
なし	シシトウシ類	1000倍	200～ 700L /10a	収穫14日 前まで	2回 以内	散布	2回以内		
	アブラムシ類、ニセナシバダニ、アザミウマ類	2000倍		収穫7日 前まで					
	クロコカイガラムシ	1000～2000倍							
すもも	アブラムシ類	2000倍							
レタス	アブラムシ類、ナメグサバエ	1000～2000倍	100～ 300L /10a	収穫3日 前まで					
	ヒメフタテンヨコバイ、ナメクシ類	1000倍		収穫14日 前まで					
非結球レタス	アブラムシ類、ナメグサバエ	1000～2000倍						収穫前日 まで	
	ヒメフタテンヨコバイ、ナメクシ類	1000倍							
セルリー	アブラムシ類、ナメグサバエ	2000倍							
いちご	アブラムシ類、アザミウマ類、カキヒメヨコバイ チャノホリダニ、うどんこ病	1000倍							
なす	アブラムシ類、アザミウマ類、コシジラミ類 ハモグリバエ類、チャノホリダニ、うどんこ病								
トマト ミニトマト	アブラムシ類、コシジラミ類、アザミウマ類 トマトサビダニ、葉かび病、うどんこ病								

〔変更後〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用 液量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用 方法	トルフェンピラト を含む 農薬の総 使用回数
なし	アブラムシ類、ニセナシバダニ アザミウマ類、クロコカイガラムシ	2000倍	200～ 700L /10a	収穫30日 前まで	1回	散布	1回
すもも	アブラムシ類			収穫14日 前まで	2回 以内		2回以内
レタス	アブラムシ類、ナメグサバエ	1000～2000倍	100～ 300L /10a		1回		
	ヒメフタテンヨコバイ、ナメクジ類	1000倍		2回 以内			2回以内
非結球レタス	アブラムシ類、ナメグサバエ	2000倍		収穫30日 前まで	2回 以内		1回
セルリー	アブラムシ類、ナメグサバエ			1番花の 開花まで	1回		1回
いちご	アブラムシ類、アザミウマ類、カキヒメヨコバイ チャノホリダニ、うどんこ病	1000倍					

【申請者による変更理由】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、登録の維持には試験成績の整備が必要であることが判明し、それには経費と時間を要することから、登録変更をすることとしたため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成 29 年 10 月 25 日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	種類名	製造者名
第20817号	三菱ハチハチ乳剤	トルフェンピラド乳剤	日本農薬㈱
第20818号	ハチハチ乳剤	トルフェンピラド乳剤	OATアグリオ㈱

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

- ・ 作物名「トマト」、「ミニトマト」、「非結球レタス」、「なす」を削除する。
- ・ 作物名「レタス」の使用時期を「収穫3日前まで」から「収穫14日前まで」に変更する。
- ・ 作物名「ブロッコリー」の使用時期を「収穫3日前まで」から「収穫7日前まで」に変更する。
- ・ 作物名「だいこん」の使用時期を「収穫14日前まで」から「収穫30日前まで」、本剤の使用回数を「2回以内」から「1回」に変更し、適用病害虫名「白さび病」、「ワッカ症」を削除し、「アオムシ」、「コガ」、「アブラムシ類」、「キジノミハムシ」、「ハイダバラノメムシ」、「ナメクジバエ」、「カブラハチ」の希釈倍数を「1000～2000倍」から「2000倍」に変更する。
- ・ 作物名「かぶ」の本剤の使用回数を「2回以内」から「1回」に変更し、適用病害虫名「カブラハチ」、「白さび病」を削除し、「キジノミハムシ」、「コガ」の希釈倍数を「1000～2000倍」から「2000倍」に変更する。
- ・ 作物名「ねぎ」の使用時期を「収穫3日前まで」から「収穫7日前まで」に変更する。
- ・ 作物名「ピーマン」の本剤の使用回数を「2回以内」から「1回」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】
 【変更前】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用 液量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用 方法	トルフェンピラト [®] を含む 農薬の総使 用回数	
レタス	アブラムシ類、ナメグリハエ	1000～2000 倍	100～ 300L ／10a	収穫 3 日前まで	2 回 以内	散布	2 回以内	
	ナメグシ類、べと病	1000 倍						
非結球レタス	アブラムシ類、ナメグリハエ	1000～2000 倍		収穫 14 日前まで				
	ナメグシ類、べと病	1000 倍						
だいこん	アオムシ、コナガ [®] 、アブラムシ類 キスジノミハムシ、ハイマダラノメイガ [®] ナメグリハエ、カブラハバチ	1000～2000 倍						収穫 7 日前まで
	白さび病、ワッカ症	1000 倍						
かぶ	キスジノミハムシ、コナガ [®]	1000～2000 倍						
	ハイマダラノメイガ [®] 、ナメグリハエ アブラムシ類	2000 倍						
	カブラハバチ、白さび病	1000 倍						
なす	アブラムシ類、アザミウマ類 コシジラミ類、マメハメグリハエ	1000～2000 倍						収穫前日まで
	チャノホリダニ	1000～4000 倍						
	チビクロハネキノコハエ	1000 倍						
	うどんこ病							
トマト	アブラムシ類、コシジラミ類 アザミウマ類、トマトサビダニ	1000～2000 倍		収穫前日まで		散布		
	ハメグリハエ類、うどんこ病	1000 倍						
ミニトマト	アブラムシ類、コシジラミ類 アザミウマ類、トマトサビダニ	2000 倍		収穫 3 日前まで				
ねぎ	アザミウマ類、アブラムシ類、ネギコガ [®] シロイモシヨウ、さび病、べと病	1000 倍						
ブロッコリー	アオムシ、アブラムシ類、コナガ [®]	1000～2000 倍						収穫前日まで
ピーマン	アザミウマ類	1000 倍						
	チャノホリダニ、コシジラミ類 うどんこ病							

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用 液量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用 方法	トルフェンピラト [®] を含む 農薬の総使 用回数
レタス	アブラムシ類、ナメグリハエ	1000～2000 倍	100～ 300L ／10a	収穫 14 日前まで	2 回 以内	散布	2 回 以内
	ナメグシ類、べと病	1000 倍					
だいこん	アオムシ、コナガ、アブラムシ類 キスジノミハムシ、ハイマダラノメイガ [®] ナメグリハエ、カブラハバチ	2000 倍		収穫 30 日前まで	1 回		1 回
	キスジノミハムシ、コナガ [®] ハイマダラノメイガ [®] 、ナメグリハエ アブラムシ類						
かぶ	アザミウマ類、アブラムシ類 ネギコガ [®] 、シロイモシヨウ さび病、べと病	1000 倍		収穫 7 日前まで	2 回 以内		2 回 以内
ねぎ	アオムシ、アブラムシ類、コナガ [®]	1000～2000 倍					
ブロッコリー	アザミウマ類	1000 倍		収穫前日まで	1 回		1 回
ピーマン	チャノホリダニ、コシジラミ類 うどんこ病						

【 申請者による変更理由 】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、登録の維持には試験成績の整備が必要であることが判明し、それには経費と時間を要することから、登録変更をすることとしたため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成 29 年 10 月 25 日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第18997号	マイトクリーン	ピリミジフェン水和剤	三井化学アグロ株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- ・作物名「りんご」の希釈倍数を「1000～2000倍」から「2000倍」へ、使用時期を「収穫21日前まで」から「収穫30日前まで」へ変更する。
- ・作物名「はくさい」の使用時期を「収穫7日前」から「収穫14日前まで」へ変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用病虫害名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ピリミジフェンを含む農薬の 総使用回数
りんご	ハダニ類	1000～ 2000 倍	200～700 L/10a	収穫 21 日前 まで	1 回	散布	1 回
はくさい	コナガ	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 7 日前ま で	2 回以内	散布	2 回以内

〔変更後〕

作物名	適用病虫害名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ピリミジフェンを含む農薬の 総使用回数
りんご	ハダニ類	2000 倍	200～700 L/10a	収穫 30 日前 まで	1 回	散布	1 回
はくさい	コナガ	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 14 日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内

【申請者による変更理由】

登録維持に必要な資料整備に経費と時間を要するため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成29年11月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第21812号	ウララDF	フロニカミド水和剤	石原産業株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

- ・作物名「非結球レタス」の使用時期を「収穫前日まで」から「収穫3日前まで」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フロニカミドを含む農薬の総使用回数
非結球レタス	アブラムシ類	2000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	2 回 以内	散布	2回以内

〔変更後〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フロニカミドを含む農薬の総使用回数
非結球レタス	アブラムシ類	2000 倍	100～300 L/10a	収穫 3 日前 まで	2 回 以内	散布	2回以内

【申請者による変更理由】

登録維持に必要な資料整備に経費と時間を要するため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成29年11月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第19252号	モンカットフロアブル40	フルトラニル水和剤	日本農薬株式会社
第19654号	日産モンカットフロアブル40	フルトラニル水和剤	日産化学工業株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

- ・作物名「だいず」を削除する。
- ・作物名「えだまめ」を削除する。
- ・作物名「ピーマン（露地栽培）」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	フルトラニルを 含む農薬の 総使用回数
だいず	白絹病	1000～ 2000 倍	3ℓ /m ²	定植時及び 生育期 但し、 収穫7日前まで	3回以内	株元 散布	4回以内 （種子粉衣 は1回以内、 は種後は3回 以内）
えだまめ				定植時及び 生育期 但し、 収穫21日前まで			
ピーマン （露地栽培）		1000 倍	1ℓ /株	収穫前日まで		株元 灌注	5回以内 （種子粉衣 は1回以内、 は種時の土 壌灌注は1回 以内、は種後 の株元灌注 は3回以内）

〔変更後〕

削除

【申請者による変更理由】

登録維持に必要な資料整備に経費と時間を要するため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成29年11月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第15931号	モンカット水和剤	フルトラニル水和剤	日本農薬株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- ・作物名「ピーマン（施設栽培）」を削除する。
- ・作物名「ピーマン（露地栽培）」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	フルトラニルを 含む農薬の 総使用回数
ピーマン (施設栽培)	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	500～ 1000 倍	3ℓ /m ²	は種時～ 子葉展開時	2 回以内	土壌灌注	3 回以内 (種子粉衣は 1 回以 内、土壌灌注は 2 回 以内)
		種子重量 の 0.5～ 1.0%	—	は種前	1 回	種子粉衣	
ピーマン (露地栽培)		500～ 1000 倍	3ℓ /m ²	は種時		土壌灌注	5 回以内 (種子粉衣は 1 回以 内、は種時の土壌灌 注は 1 回以内、は種 後の株元灌注は 3 回 以内)
		種子重量 の 0.5～ 1.0%	—	は種前		種子粉衣	

〔変更後〕

削除

【申請者による変更理由】

登録維持に必要な資料整備に経費と時間を要するため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成29年11月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第17120号	ロディーくん煙顆粒	フェンプロパトリンくん煙剤	住友化学（株）

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回、使用制限となる変更部分のみ）】

- ・作物名「ぶどう」を削除する。

【適用表（今回、使用制限となる変更部分のみ）】

【変更前】

作物名	適用場所	適用病害虫名	使用量	くん煙時間	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フェンプロパトリンを含む農薬の総使用回数
ぶどう	温室、ビニールハウス等の密閉できる場所	ハダニ類	くん煙室容積 100m ³ (床面積50m ² ×高さ2m) 当り20～30g	通常 10～15時間	収穫7日前まで	2回以内	くん煙	4回以内 (噴射は2回以内、 散布及びくん煙 は合計2回以内)

【変更後】

（削除）

【申請者による変更理由】

現在の登録内容の維持に必要な試験成績の整備に経費と時間を要するため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成29年12月6日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第23743号	リバイブ	エマメクチン安息香酸塩液剤	シンジェンタジャパン(株)

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- 作物名「さくら」の使用量「90~180 mL」を「50~150 mL」に変更する。
- 作物名「さくら」の使用量「30cm 以上は胸高直径が 5cm 増すごとに 20~60 mL を増量する」を「30cm 以上は胸高直径が 5cm 増すごとに 10~30 mL を増量する」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用 病虫害名	使用量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用方法	エマメクチン安息香酸塩を含む農薬の総使用回数
さくら	ケムシ類	胸高直径（樹幹部） 26~30cm 90~180mL 30cm 以上は胸高直径が 5cm 増すごとに 20~60 mL を増量する。	発生前~発生期	1 回	樹幹部に注入孔をあけ、注入器の先端を押し込み樹幹注入する。	1 回

〔変更後〕

作物名	適用 病虫害名	使用量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用方法	エマメクチン安息香酸塩を含む農薬の総使用回数
さくら	ケムシ類	胸高直径（樹幹部） 26~30cm 50~150mL 30cm 以上は胸高直径が 5cm 増すごとに 10~30 mL を増量する。	発生前~発生期	1 回	樹幹部に注入孔をあけ、注入器の先端を押し込み樹幹注入する。	1 回

【申請者による変更理由】

使用者が使用する際により使いやすい薬量幅にするため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成29年12月6日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第23892号	草取り名人W	アミカルバゾン・ブロマシル粒剤	丸和バイオケミカル株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

- ・適用雑草名の「一年生雑草及び多年生広葉雑草」の使用量を「20～40g/m²」から「20～30g/m²」へ変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	アミカルバゾンを含む農薬の総使用回数	ブロマシルを含む農薬の総使用回数
樹木等	公園、庭園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地等	一年生雑草	雑草発生前	10～20 g/m ²	2回以内	植栽地を除く樹木等の周辺地に全面土壌散布	2回以内	2回以内
		一年生雑草及び多年生広葉雑草	雑草生育初期（草丈20cm以下）	20～40 g/m ²				

〔変更後〕

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	アミカルバゾンを含む農薬の総使用回数	ブロマシルを含む農薬の総使用回数
樹木等	公園、庭園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地、鉄道等	一年生雑草	雑草発生前	10～20 g/m ²	2回以内	植栽地を除く樹木等の周辺地に全面土壌散布	2回以内	2回以内
		一年生雑草及び多年生広葉雑草	雑草生育初期	20～30 g/m ²				

【申請者による変更理由】

適用場所に「鉄道」を追加することに伴う使用量の変更のため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成30年1月17日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第23101号	ジャストフィットフロアブル	フルオピコリド・ベンチアバリカルブイソプロピル水和剤	バイエルクロップサイエンス(株)

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

作物名「トマト」及び「ミニトマト」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルオピコリドを含む農薬の総使用回数	ベンチアバリカルブイソプロピルを含む農薬の総使用回数
トマト ミニトマト	疫病	5000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内	3回以内

〔変更後〕

削除。

【申請者による変更理由】

本剤使用後のトマトから異臭を感じるとする問い合わせを受け、製造者が社内で検討を重ねた結果、本剤の使用と異臭の因果関係は想定され難いものの、今後も同様の問い合わせを受けることが想定され、その対応（再現試験や化学分析等）に多大な経費を要すると考えられることから、経済性を考慮し「トマト」および「ミニトマト」を削除することとした。

【本件のお問い合わせ先】

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室
塚田

TEL:03-3502-5969

FAX:03-3501-3774

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成30年2月28日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第17801号	ダニトロンフロアブル	フェンピロキシメート水和剤	日本農薬株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- ・作物名「りんご」の使用時期を「収穫14日前まで」から「収穫30日前まで」に変更する。
- ・作物名「なし」の使用時期を「収穫7日前まで」から「収穫14日前まで」に変更する。
- ・作物名「ぶどう」の使用時期を「収穫14日前まで」から「収穫30日前まで」に変更する。
- ・作物名「トマト、ミニトマト」の使用時期を「収穫前日まで」から「収穫開始14日前まで」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用病虫害名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	フェンピロキシメートを含 む農薬の 総使用回数
りんご	リンゴハダニ ナミダニ	1000～2000 倍	200～700 L/10a	収穫 14 日前まで	1 回	散布	1 回
	リンゴサビダニ	2000 倍		収穫 7 日前まで			
なし	ハダニ類 ニセサビダニ	1000～2000 倍		収穫 14 日前まで			
ぶどう	ハダニ類	1000～2000 倍	150～300 L/10a	収穫前日まで	3 回 以内		3 回 以内
	ブドウサビダニ	2000 倍					
トマト ミニトマト	トマトサビダニ	1000 倍					
	タバココナジラミ類 (シルバーリーフコナジラミを含む)	1000～2000 倍					

【 変 更 後 】

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	フェンピロキシメートを含 む農薬の 総使用回数
りんご	リンゴハダニ ナミハダニ	1000～2000 倍	200～700 L/10a	収穫30 日前まで	1 回	散布	1 回
	リンゴサビダニ	2000 倍		収穫14 日前まで			
なし	ハダニ類 ニセナシサビダニ	1000～2000 倍					
ぶどう	ハダニ類	1000～2000 倍	150～300 L/10a	収穫開始14 日前 まで	3 回 以内		3 回 以内
	ブドウサビダニ	2000 倍					
トマト ミニトマト	トマトサビダニ	1000 倍	150～300 L/10a	収穫開始14 日前 まで	3 回 以内	3 回 以内	
	タバココナジラミ類 (シルバーリーフコナジラ ミを含む)	1000～2000 倍					

【 申請者による変更理由 】

登録維持に必要な資料整備に経費と時間を要するため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成30年2月28日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第23944号	タフキューア－水和剤	チウラム・チオファネートメチル水和剤	日本曹達株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

- ・作物名「西洋芝（ベントグラス）」から適用病害虫名「疑似葉腐病（春はげ症）」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	チウラムを 含む農薬の 総使用回数	チオファネートメチルを 含む農薬の 総使用回数
西洋芝 (ベントグラス)	葉腐病(ブラウンハッチ)	1000 倍	0.5～ 2 L/m ²	発病初期	8 回以内	散布	8 回以内	8 回以内
		100 倍	0.05 L/m ²					
	炭疽病	500～	0.5 L/m ²					
	ダースポット病	1000 倍						
		100 倍	0.05 L/m ²					
	ヘルミントスリウム葉枯病	1000 倍	2 L/m ²	休眠期前				
	疑似葉腐病(春はげ症)							

〔変更後〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チウラムを含む農薬の総使用回数	チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数
西洋芝 (ベントグラス)	葉腐病(ブラウンハッチ)	1000 倍	0.5～ 2 L/m ²	発病初期	8 回以内	散布	8 回以内	8 回以内
	炭疽病	100 倍	0.05 L/m ²					
		500～	0.5 L/m ²					
	ダースポット病	1000 倍	0.05 L/m ²					
	ヘルミントスリウム葉枯病	1000 倍	2 L/m ²					

【申請者による変更理由】

実使用場面との整合性を取るため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成30年2月28日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第13682号	ホームイ水和剤	チウラム・チオファネートメチル水和剤	日本曹達株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

- ・作物名「芝（ベントグラスを除く）」及び「西洋芝（ベントグラス）」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	チウラムを 含む農薬の 総使用回数	チオファネートメチルを 含む農薬の 総使用回数		
芝 (ベントグラスを 除く)	疑似葉腐病(春はげ症)	1000 倍	2L/m ²	休眠期前	8 回以内	散布	8 回以内	8 回以内		
	ヘルミントスポリウム葉枯病		0.5～ 2L/m ²	発病初期						
	葉腐病(ブラウンパッチ)									
葉腐病(ブラウンパッチ)	100 倍	0.05L/m ²	休眠期前							
炭疽病	500～ 1000 倍	0.5L/m ²								
炭疽病									100 倍	0.05L/m ²
西洋芝 (ベントグラス)	ダレースポット病	1000 倍							2L/m ²	休眠期前
	ダレースポット病									
	ヘルミントスポリウム葉枯病	1000 倍							2L/m ²	休眠期前
	疑似葉腐病(春はげ症)									

〔変更後〕

(削除)

【申請者による変更理由】

同一処方の芝専用農薬として「タフキュアー水和剤(第23944号)」の登録を取得したため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成30年3月28日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第21959号	プリモマックス液剤	トリネキサパックエチル液剤	シンジェンタジャパン(株)

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

- 作物名「西洋芝(ベントグラス)」、使用目的「芽数増加及び根量増加」の薬量「50～100ml/10a」を「50～75ml/10a」に変更する。
- 作物名「西洋芝(ベントグラス)」、使用目的「草丈の伸長抑制による刈込み軽減」の薬量「70～140mL/10a」を「70～75ml/10a」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	使用目的	使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トリネキサパックエチルを含む農薬の総使用回数
		薬量	希釈水量				
西洋芝 (ベントグラス)	草丈の伸長抑制による 刈込み軽減	70～140 mL/10a	150～200 L/10a	生育 盛期	5回以内	全面 均一 散布	5回以内
		50～75 mL/10a	50～100 L/10a				
	芽数増加及び 根量増加	50～100 ml/10a	100～200 L/10a				

〔変更後〕

作物名	使用目的	使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トリネキサパックエチルを含む農薬の総使用回数
		薬量	希釈水量				
西洋芝 (ベントグラス)	草丈の伸長抑制による 刈込み軽減	70～75 ml/10a	150～200 L/10a	生育 盛期	11回以内	全面 均一 散布	11回以内
		50～75 ml/10a	50～100 L/10a				
	芽数増加及び 根量増加	50～75 ml/10a	100～200 L/10a				

【申請者による変更理由】

本剤の使用現場において低薬量多数回散布が志向されているため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成30年4月11日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第16742号	スカウト乳剤	トラロメトリン乳剤	ハエルクロップサイエンス株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- ・作物名「てんさい」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用病虫害名	希釈 倍数	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	トラロメリンを 含む農薬の 総使用回数
てんさい	ヨトウムシ	1500～2000 倍	収穫14日前まで	3 回以内	散布	3 回以内

〔変更後〕

削除

【申請者による変更理由】

てんさいへの販売実績がないため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成30年4月11日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第20618号	バリアード顆粒水和剤	チアクロプリド水和剤	ハニエルクロップサイエンス株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

- ・作物名「ぶどう」の希釈倍数を「2000～4000倍」から「4000倍」へ変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	チアクロプリドを 含む農薬の 総使用回数
ぶどう	チャノキイロアザミヤ コナカイガラムシ類	2000～ 4000 倍	200～700 L/10a	収穫21 日前まで	2 回以内	散布	2 回以内

〔変更後〕

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	チアクロプリドを 含む農薬の 総使用回数
ぶどう	チャノキイロアザミヤ コナカイガラムシ類	4000 倍	200～700 L/10a	収穫21 日前まで	2 回以内	散布	2 回以内

【申請者による変更理由】

登録維持に必要な資料整備に経費と時間を要するため。